

令和6年度
全国学力・学習状況調査
指導方法等の改善計画

呉市立東畑中学校
(東畑中学校区)

全国平均値との差

	国語	数学
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+5.0	+5.0
令和8年度	—	—
令和7年度	—	—
令和6年度	+3.9	+0.5
令和5年度	+4.2	+5.0
令和4年度	-1.0	-7.4

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

国語 本校 62 % 全国 58.1 % 県 58 % 話すこと・聞くこと 書くこと 読むこと 言葉の特徴や使い方 情報の扱い方 我が国の言語文化	重点課題	◎短歌の表現技法を正しく捉えることに課題がある。(設問4一)【言葉の特徴や使い方】(正答率54.2% 全国平均との差-0.7%) ◇文の中における主語と述語の関係や短歌の表現技法を正しく捉えることに課題がある。(小:設問3一, 中:設問4一) また、漢字が正しく書けていない。(小:設問2三ア, 中:設問3三)(平均正答率 小59.6%, 中58.3%)【言葉の特徴や使い方】
	改善の方策	◎文や短歌の中から表現技法を見つけ出し、その効果について考えさせる指導を行う。 ◇主語と述語、修飾語の役割を指導し、文章中で正しく捉える練習を繰り返し行う。また、表現技法について指導し、文中での表現技法を見つけ、その効果を考えさせる。漢字は小テスト等を実施し反復学習をさせることで、定着を図る。
	検証	◎◇全国学力(中:設問4一)(中第3学年, 2月) 目標90%→結果66.6% 全国学力類似問題(中:設問3三)(中第3学年, 2月) 目標80%→結果87.5%
数学 本校 53 % 全国 52.5 % 県 52 % 数と式 図形 関数 データの活用	重点課題	◎筋道を立てて考え、証明すること(設問9の一)【B図形領域2】(正答率16.7% 全国平均との差-9.1%)や、連続する2つの偶数を、文字を用いた式で表すこと(設問1)【A数と式1】(正答率25.0% 全国平均との差-9.8%)に課題がある。 ◇除数が小数の場合において、除数と商の関係を正しく理解できていない。(小:設問2(2)) また、連続する二つの偶数を文字を用いた式で表すことに課題がある。(中:設問1)(平均正答率 小49.4%, 中25.0%) 小【A数と計算】中【A数と式】
	改善の方策	◎数量を文字式で表すために、言葉の式を繰り返し復習する時間を設定する。証明の構成や基本図形の性質の理解を深め、活用できるように発展問題に取り組む。 ◇反復学習により基礎的な四則計算力の定着を図る。また、式の意味を繰り返し指導し、数量の関係を、文字を用いて式に表すことができるようにさせる。
	検証	◎◇全国学力(中:設問1))(第3学年) 2月 目標80%→結果56.0% 全国学力類似問題(中:設問1)(第3学年) 2月 目標80%→結果51.0%

【来年度に向けて】
授業の中で、ただ文章を読んだり、問題を解いたりするのではなく、図表の効果や役割を考えたり、自身の回答を自分の言葉で説明する時間を設ける。基本的な学力定着のために、授業内での指導に加えてキュービナ等を活用しながら繰り返しの学習も行う。